

令和 8 年度事業計画（案）

きずなこども園

1. 令和 8 年度を通して重点的に取り組む事業

(1) 質の高い乳幼児教育・保育事業の充実

ア. 外部環境

令和 8 年度 4 月より本園は保育所型認定こども園として、幼稚園と保育所の機能を併せ持ち地域の子育て支援も行う施設として事業を開始します。

イ. 重点的な取り組み

- ① 保育所型認定こども園の役割を理解し、子どもの最善の利益を考慮し、地域に開かれた園として幼児教育・保育事業を実践していきます。
- ② 子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子ども主体としての思いや願いを受け止め、適切に援助していく保育者の力を高めます。
- ③ 多様な子どもたちの育ちに配慮し、一人ひとりに応じたきめ細やかな子育て支援を心掛けると同時に、一人ひとりの子どもが十分に自己発揮できる環境を整えていきます。
- ④ 子どもの相互の関係づくりや互いに尊重する心を大切にし、集団における活動を効果あるものにするように援助していきます。(異年齢児の関わりの推進)

(R8 年度入所園児目標数 0 歳児 9 名 1 歳児 11 名 2 歳児 14 名 3 歳児 14 名 4 歳児 14 名
5 歳児 14 名 合計 76 名)

(2) マネジメント体制の構築の推進

ア. 外部環境

保育士不足における保育士確保の難しさを目の当たりにしながら、園の保育の質を支えるのは、園全体の職員間の組織力の強さも重要です。一人ひとりの専門性の向上に努めると共に、園全体の組織力の向上のためのマネジメント体制を構築していく必要があります。

イ. 重点的な取り組み

- ① 中堅リーダー層の育成と意識改革、主幹保育教諭・園長の業務の精査をしていきます。
- ② 組織としてのチーム保育を推進し、園の理念、保育目標に向かい、縦横の連携を大切にしながら保育業務を進めていきます。
- ③ 保育の質の向上のために、外部研修のキャリアアップ研修に参加して園内に落とし込み全体のレベルアップを目指しながらも、園内研修を充実させ、自分たちで課題に取り組む意識や対話力、実践力を培っていきます。

(3) 各事業の拡大と体制づくり

ア. 外部環境

発達障害の特性を持つ子どもや医療的ケアが必要な子どもの増加により、子育て支援の拠点として取り組む事業として、さらに様々なこどもに対応できるような体制づくりが必要となってきます。

イ. 重点的な取り組み

- ① 臨床心理士や保健センター、療育事業所等、それぞれの専門家と連携を深め、子どもの発達・行動の理解や保護者対応について学びを深めるとともに、支援体制の強化を図ります。
- ② 保育者の障害児教育スキルアップ研修の受講を積極的に取り入れ、それぞれの専門性を高めます。
- ③ 医療的ケア児や医療的ケア児等支援の役割を理解し、本園での受け入れ態勢の構築について準備を進めていきます。また、医療的ケア児受け入れの為だけではなく、園での保健環境の整備のためにも看護師採用の準備を整えていきます。

2. 本年度実施の事業内容及び年間計画

(1) 事業内容

事業名称	事業内容
乳児保育	清潔で安全な環境で生後 6 ヶ月からの乳児の保育を行う。 (授乳、おむつ交換、沐浴、離乳食など)
延長保育促進事業	安心・安全な環境を整え、通常保育後、乳幼児が楽しく過ごせるように保育を行う。
地域交流事業 世代間交流事業	こども園行事への参加や施設訪問等を行い、地域の高齢者や小中学生(卒園児等)との交流を図る。
育児支援事業	園児の保護者や地域の子育て家庭を対象に育児講座、相談、園庭開放を行う。
幼児保育相談事業	臨床心理士による気になる子どもの観察及び保育士や保護者への指導とカウンセリングを行う。
障害児保育事業	軽度障害や気になる子どもの特性の理解や環境設定等、一人ひとりに適切な保育を行う。
児童発達支援事業	保護者や療育施設・保健センター等と連携を図りながら適切な発達支援を行い、就学支援につなげていく。
一時預かり保育事業	1 号の認定を受けた子どもが、保護者の就労や都合によって、認定時間以外の教育・保育を行う。

(2) 年間計画

月	行 事	職員研修会・会議等
4	進級式・始業式	藤森先生講演会・保育を磨く会(研修)
5	こどもの日・春の遠足 健康診断 交通安全教室・保護者懇談会	市保協総会・全体研修会 職員研修 マネジメント研修(キャリアアップ)
6	歯科検診	保健衛生・安全対策研修会 マネジメント研修(キャリアアップ)
7	七夕まつり・プールあそび・夏まつり 人形劇(地域交流)	マネジメント研修 (キャリアアップ) アンガーマネジメント研修 不適切保育防止研修会 2園合同研修
8	異年齢児交流(4・5 歳児、卒園児) お泊り保育(5歳児)	保護者支援・子育て支援研修(キャリアアップ) 幼児教育研修会(キャリアアップ)
9	十五夜・敬老会	食育アレルギー研修会(キャリアアップ) マネジメント研修 (キャリアアップ) 不適切保育防止研修会 (リーダー向け) 職員研修
10	運動会 荒田小校区文化祭(5歳児)	マネジメント研修 (キャリアアップ)
11	秋の遠足・健康診断・勤労感謝訪問 子どもの食事のアンケート調査	乳児保育研修会(キャリアアップ) 幼保連携研修会(公開保育)
12	生活発表会・クリスマス会 もちつき大会	マネジメント研修 (キャリアアップ) 園長・主任研修 2園合同研修

1	七草・たこあげ大会 ・防犯訓練	市保協全体研修会
2	節分・写真撮影 ・入園説明会	障害児保育研修(キャリアアップ) 実践論文研修 新任職員研修 職員研修
3	ひなまつり・お別れ会・お別れ遠足・卒園式	小学校との連携・接続 新年度準備会議
◎ 誕生会、避難訓練は毎月実施 ◎ 3歳以上児～週1回体操教室 ◎ 3歳以上児～月1回英語あそび ◎ 異年齢児交流事業、世代間交流事業 ◎ 給食試食会 ◎ 養成校・看護学校実習受け入れ ◎ 小学生・中学生・高校生体験学習受け入れ ◎ 幼児保育相談(臨床心理士) ◎ 毎月誕生時の保護者による一日保育士実施		◎ 月例会議 園内研修 職員会議 クラス会議 危機管理会議 給食検討会 ケース会議 リーダー会議

3. 施設管理

(1)設備・備品関係

①業務用炊飯器

老朽化により炊き方にムラが出る。大きすぎるのも使用しにくいと、園の人数にあった新しい炊飯器の購入を希望します。

②園舎内外及び設備・備品等の点検

備品等についても点検を行い、老朽化したものは、随時修繕・入れ替え等を行います。

(2)防災・防犯・安全管理

- ・ 避難訓練・消火訓練
毎月1回(年2回は中央分遣隊指導による避難訓練)
- ・ 防犯訓練(市安心安全課指導員による防犯教室実施)
(中央警察署生活安全課による不審者訓練)年1回
- ・ 防災設備の点検委託
年2回(内、届け出1回)
- ・ 非常食糧の備蓄
(全園児数+全職員数)×3食×(1日～3日)
- ・ 年に1回業者による固定遊具の点検
- ・ 安全チェックリストによる点検を、毎月当番が行う
- ・ 園児賠償、傷害保険加入

4. 地域社会との連携

- ・ 慈愛の郷訪問や季節の行事を通してのふれあいの再開(敬老会、クリスマス会)
- ・ デイサービス(架け橋)のお年寄りとの交流 年2回程度実施
- ・ 高麗町の町内会の方々とのふれあい交流(夏祭りやハロウィン等)
- ・ 町内会の行事への協力と参加(敬老会や文化祭等)
- ・ 甲南中学校の家庭科の保育学習・職場体験の受け入れ
- ・ 興正寺(高麗町)の六月灯の灯籠づくり
- ・ 地域の子育て家庭への支援(園庭開放・育児相談)

5. 相談・苦情解決

- ・ 相談・苦情解決実施要項に基づき、利用者からのご意見や要望を真摯に受け止め、問題解決や再発防止に取り組む。

- ・ ホームページでの公開。
- ・ 気軽に相談できる環境や体制を整え、保護者や園児に安心して利用してもらえるように職員の質の向上に努める。

6. 中長期計画に関する対応

- ・ 子ども主体の保育を推進することを念頭に保育の質の向上を図る。
- ・ 障害のある子どもとその保護者への支援、関係機関との連携を更に深める。面談や連絡会で子どもの発達や保護者の困り感に寄り添うスキルを研修で学び身に付ける。
- ・ 地域との交流の在り方を再検討し実施する。子育て支援事業の地域の渠底ンとして、地域・家庭との連の強化と地域のネットワークづくりを推進していく。
- ・ アンケートの実施や連絡帳などから、新たな利用者のニーズを知り検討する。
- ・ 法人内関係機関(おひさまこども園)との相互訪問見学研修を実施し、カンファレンスを通してお互いの保育への理解を深め、相互の保育の質の向上を図り、職員の交流を目指す。
- ・ 業務の見直し、働き方改革を職員自らが意識する事で、やりがいのある仕事への取り組みを考える。

7. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

(令和8年4月1日の園児数見込み)

クラス名	年齢	園児数	保育士数(基準数)	備 考
ひよこ	0 歳	9	3(3)	
り す	1 歳	11	2(2)	
うさぎ	2 歳	11	2(2)	
こあら	3 歳	14	1(1)	
ぱんだ	4 歳	14	1(1)	
きりん	5 歳	14	1(1)	
フリー			5	
合 計		73	15(10)	

② 月別保育予定日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合 計
25	23	26	26	25	23	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
26	23	25	23	22	25	
						292 日

③ 保 育

<保育目標>

『思いやりをもって、自分らしく、意欲的に行動する子どもを育てる』

<めざすこども像>

- ・ 人の気持ちに気づき寄り添える子ども
- ・ 自分を好きになれる子ども
- ・ やりたいことを表現できる子ども

[各年齢の教育・保育目標]

ひよこ組(0 歳児)の年間目標

- ・ 家庭的な温かい雰囲気の中で、生理的・心理的欲求を満たす。
- ・ 保育者や友だちに親しみをもち安心して過ごせるようにする。

りす組(1歳児)の年間目標

- ・身のまわりのことに興味・関心を持ち、自分でやってみようという気持ちを持つ。
- ・探索活動を楽しみ、自分で体を動かすことを喜ぶ。

うさぎ組(2歳児)の年間目標

- ・身のまわりのことを、援助してもらいながら少しずつ自分でできるようになる。
- ・保育者と楽しく遊ぶ中で、友だちとのかかわりを持ち、自分の思いや欲求を言葉で伝える。

こあら組(3歳児)の年間目標

- ・基本的生活習慣が身につく、自分のことは自分でできるようになる。
- ・友だちと一緒に遊ぶことを通してかかわりを深め、集団生活を楽しむ。

ばんだ組(4歳児)の年間目標

- ・遊びの中で自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりして、関わり方や思いやりの気持ちを持つ。
- ・身近な自然に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりする。

きりん組(5歳児)の年間目標

- ・さまざまな体験を通して、主体的な行動、皆で協力する充実感を味わう。
- ・異年齢の関わりの中で、思いやりの心を育て、協力する態度を身に付ける。

④ 健康管理

健康診断 年2回(5月、11月)

歯科検診 年1回(6月)

(2)職員の処遇

ア 職員体制令和8年4月1日予定)

園長	1名	
主幹保育教諭	2名	
保育教諭	17名	(うちパート3名)育休1名
栄養士	1名	
調理員	4名	(うちパート3名)
事務員	2名	
施設係	1名	(パート)
嘱託医	2名	(非常勤)
計	30名	

イ 健康管理

健康診断 1年 1回(5月)

細菌検査 毎月 1回(ノロ検査 給食従事者5名 10月～3月)

ウ 職員会議 毎月1回

危機管理会議

リーダー会議

給食検討会

エ 研修計画 (別記の通り)

園内研修(土曜日年4回実施)、及び毎月1回職員会議と合わせて実施 キャリアアップ研修
おひさまとの2園合同研修年3回実施

(3)採用計画

- ・令和8年4月1日付正規保育士1名採用